

宿縁

七月号

千葉県市川市国府台五丁目二十六番三十九号
浄土真宗
本願寺派
中原寺
TEL 0477-372102
FAX 0477-372102

旅に思う

先人たちの面影



岐阜で開催されたある団体のシンポジウムに出席したついでに米原経由で北陸を回り、四日間を過ごしてぐるり一周をしました。それぞれの地に先人の残した歴史と伝承を感じ、今を生きる人々の考え方を考えることができ、久々に良い旅でした。岐阜駅前立つ金色の織田信長像に象徴される戦国時代の武将たち、とりわけ三河は江戸時代を築きあげた徳川家康の出身地です。シンポジウム閉会後の懇親会では

尾張人、三河人の背景や違いに触れた話に興味をそそがれました。また御三家や明治維新の人物たちの評価にもおよび、酒席ゆえの歓談に時間のたつのを忘れませんでした。来年のNHK大河ドラマは「どうする家康」だそう楽しみです。

さて、現在でも三河は真宗門徒が多いと言われますが、かつて永禄6年(1563)〜永禄7年(1564)に一向一揆が起りました。一向一揆とは本願寺門徒を中心とした一揆のことで、当時の領主や社会に大きな影響を与え、若き家康の家臣にも、多く本願寺側についたとされています。この一揆は家康にとって三大危機(三方ヶ原の戦い、伊賀越え)といわれるほどのピンチに陥つたとされています。

また、西三河岡崎市の願照寺が所蔵していた親鸞聖人の安城の御影(西本願寺蔵)が有名です。鎌倉時代の1255年(建長7年)法眼朝円の筆とされる親鸞83歳の姿を描いたとされています。襟巻を首に巻き、座っている目の前には火桶、猫皮草履、桑の鹿杖が並べられています。ちなみに親鸞聖人の三御影といわれるのは、国宝の鏡の御影(西本願寺蔵)と、この安城の御影、それに重要文化財の熊皮の御影(奈良国立博物館)です。翌日は岐阜駅から米原を経て北陸線へ。

福井、金沢を経て富山高岡へと列車に乗りました。水田を走る車窓からはあちらこちらにお寺の麓とお墓の光景が目に入ります。一様にお墓の正面に刻まれた「南無阿弥陀仏」のお名号がやさしく迎えてくれているように自然とお念仏が口に出ます。

まだ開通前の新幹線の橋脚が続く中、福井駅でふと思うことがありました。2008年6月8日に起きた秋葉原歩行者天国での2トントラック無差別殺傷事件のことです。7人が死亡、10人が重軽傷を負いました。ネット社会、非正規社員、派遣社員、孤独の時代といわれる現代の姿を思い知らされた事件です。ネットの掲示板荒らしに対する抗議の表明手段だったという加害者の言葉。そしてその弟の自殺は何とも痛ましいものでした。

ただ加害者が事件を起こす直前に福井のミリタリーショップを訪れ、事件に使われたダガーナイフを購入する際、ネット上に紹介されていた通り丁寧で愛想のいい女店員と会話をし、帰りの特急に乗って動き出した直後に「店員さん、いい人だった。人間と話すのって、いいね。タクシーのおっちゃんとも話した。」と書き込みをしたといえます。

(「秋葉原事件」中島岳志著より) 記号や活字ではなく、人間が生る言葉を交わす事の意味を改めて思いました。「ひとつのことば」北原白秋 ひとつのことばで けんかして ひとつのことばで かななおり ひとつのことばで 頭が下がり

ひとつのことばで 心が痛む ひとつのことばで 楽しく笑い ひとつのことばで 泣かされる ひとつのことばは それぞれに ひとつのころを 持っている きれいなことばは きれいな心 やさしいことばは やさしい心 ひとつのことばを 大切に ひとつのことばを 美しく

黒部宇奈月温泉駅から宇奈月温泉に向かう途中「入善町」とか「南砺市」、「砺波」といった地名が目にとまりました。江戸時代の後期、百姓法度という定めによって、百姓は自分の生まれた土地からよそへ移ってはならないことになっていました。しかし天明の大飢饉が起り、三分の二ほどの農民たちを失った奥州の大地では、耕す人がいなくなりました。そこで越中(富山)のお寺の少年二人が、相馬(福島県)の中村藩からたのまれ、北陸の農民1800家族を奥州へ移住させるために立ち上がりました。この事実を題材として中学校の課題図書になったのが、新開ゆり子さんの「あの虹の立つ峰をこえて」という本です。

浄土真宗門徒が大多数をしめる北陸では、真宗の教えによって「間引き」(口べらしのため親が新生児を殺すこと)を厳禁していたこともあり人口が増大して土地が不足するといふ、東北諸藩とはまったく逆の現象があったといえます。しかし今日そうして苦労された入植の地、福島、会津特に南相馬地方では東日本大震災に見舞われ、原発事故によってその地を離れさせられているのです。

【寺灯雑記】

○常例法座が開かれる

6/19

六月の常例法座は当寺に何度もご出講いただいている柏倉学法師にお話しいただきました。

毎回、阿弥陀さまのお慈悲いっぱいのお心をお取り次ぎいただいています。この日はご自身の家族のエピソードなどを交えながら、どんなに辛いことが起きようとも頑張らなくていい、泣いてもいい、このままの私が救われていく教えが阿弥陀さまのお働きであると、お伝えくださいました。

○門信徒会役員会にて協議

6/19

今年二回目となる門信徒会役員会が開かれ、今後の法要・行事について協議がなされました。

その中で、過去二年間中止となっていたファミリーパーティーと文化講演会について、今年は開催の方向で準備が進められることとなりました。(ファミリーパーティーの詳細については【法座・行事のご案内】にて) また、子ども合宿と旧跡参拝旅行は今年も中止されることが決まりました。

○中原寺子ども会が初開催

6/26

中原寺の新たな試みとして、日曜日に子ども会を開催しました。一人でも参加くださればと思つて発足しましたが、九人のお子様に参加してくれました。

内容は手を合わす(合掌)練習、3つのや

くそくの唱和の後に、お絵かきや折り紙などを楽しみましたが、折り紙でのコマ作りには苦戦しました。

最後に「いのち」をいただくことの有難さをお話しし、「いただきます」を言つてからおやつを食べました。

お寺で過ごす事が楽しいと思つてもらえるように子どもたちの意見を聞きながら活動して行きたいと思ひます。

○ご寄進有難うございます

夏用大五条袈裟 初井善美様

【仏事Q&A】

○念珠について

念珠は、数珠ともいいますが、浄土真宗では念珠と表現されることが多いです。数珠は、珠の数によつて、となえた念仏の数を確認するために珠を爪繰つて用います。が、浄土真宗では念仏の回数を問題にすることはありません。珠を爪繰つたりしません。

蓮如上人は『御文章』に、念珠を持たないで阿弥陀如来に礼拝するのは、仏さまを手づかみにするのと同じであると戒められています。仏さまを手づかみにするのは、自分の都合によつて仏さまと関わろうとしていることを表しています。蓮如上人は、自分が仏さまをとらえようとするのではなく、私たちが阿弥陀如来の慈悲の心に摂め取られていると受けとめること(他力の信心)が大切であると説かれています。そのありようが、念珠を持つてお参りをする姿となるのです。

念珠は大切な法具ですから、畳や床の上など歩行する場所に置いたり、念珠を持ったままトイレに行つたりしないよう気をつけましょう。

【法座・行事のご案内】

○婦人会法座

七月二日(土) 午後一時

*ご文章に学ぶ 前住職

(一帖第五通・雪中章)

*仏教讃歌と童謡

○壮年会法座

七月十日(日) 午後三時

*御文章を学ぶ 住職

*質疑

○子育てサロン「パンダっ子」

七月十一日(月) 十一時〜十四時

*遊びと保育、保護者の交流

*昼食を用意しています。

○常例法座

七月二十一日(木) 午後一時

講師：大澤直誓師(広島県)

○中原寺ファミリーパーティー

七月三〇日(土)

☆受付 午後一時三〇分

☆開演 午後二時

☆演目

① 映像紙芝居(キャベツおばさん)

映像に合わせ楽器の生演奏

② 講談

神田伊織師

「注目の新進気鋭の若手講師」



③ ビンゴ大会

(十六時頃終了予定)

☆当日、聞法会館駐車場にキッチンカーが出店!

国産無農薬レモンでつくったレモネードや水出しアイスコーヒー、かき氷を販売予定です。



*参加のかたは事前にご連絡ください。
*お車でのご来場はご遠慮ください。

○七月の教行信証を学ぶは休座です

【七月の掲示板のことば】

今日という日は

わが人生で 初めての日